

実行委員企画5：講演会＋ミニシンポジウム（義肢装具士 × 音楽療法士）

「対象者を支援する多職種連携～音楽を絡めて～」

2022年3月13日（日）、午前10:30～12:00（講演60分＋ミニシンポジウム30分）

ZOOMにて開催、先着100名様入室可（開催後は動画を配信）

講師：徳井 亜加根先生（国立障害者リハビリテーションセンター学院 義肢装具学科厚生労働教官）

（プロフィール）義肢装具士。株式会社小豆澤整形器製作所にて急性期医療における臨床業務に従事した後、国立障害者リハビリテーションセンターにて学院 教官を拝命、病院での臨床業務、研究所における研究活動も並行して行っている。研究テーマは、関節リウマチ、頸髄損傷、障害者スポーツ、義肢装具分野におけるICT技術など多岐にわたる。

（講演内容）

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では障がい者スポーツが注目され、義足で走るイベントが全国各地で開催されるようになってきました。しかし、障がいのある子どもたちが困っているのはスポーツだけでしょうか？そんなはずありません。しかし、障がい者音楽という言葉はほとんど耳にしません。障がいのない子どもたちでも難しいリコーダー演奏を、上肢に障がいのある子どもたちはどのように行っているのでしょうか？リコーダー演奏に困っている子どもたちは全国にたくさんいます。リコーダーを諦めて、打楽器担当になっているだけです。上肢に障がいのある子どもたちのリコーダー製作・改造について中心的な役割を担ってきた東京都補装具研究所が1997年に閉鎖され、現在はリコーダーの相談窓口すらありません。音楽療法士と義肢装具士が手を取り合って、リコーダー演奏を諦めている子どもたちへの支援に取り組んでみませんか？

座長：那須 貴之（医療法人篤友会 坂本病院）